

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

実施日：令和7年2月7日

公表：令和7年3月31日

		事業所名		オレンジスクール		藤沢教室（単位2）
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	改善策
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	☒	☐	法令を遵守しています。	今後も継続していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	☒	☐	法令を遵守しています。	今後も継続していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	☒	☐	教室内に段差はありません。 座席表や日付、イベントのお知らせ等を掲示しています。	玩具収納の構造化を進めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	☒	☐	定期的に掃除を行っています。 学習と療育の場を分けています。	今後も継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	☒	☐	面談室があり、そこで過ごすことも可能です。	今後も継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	☒	☐	業務についての意見や気付きに対して社員全体で参画しながら業務改善に努めています。 状況に応じて非常勤職員にも周知を実施しています。	職員がわかりやすい形での周知を実施し、引き続き業務改善に努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☒	☐	毎年保護者向けのアンケートを実施し、業務改善に努めています。	今後も継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☒	☐	定期的に職員面談を実施して、業務改善につなげています。	今後も継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	☐	☒	実施していません。	必要に応じて検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	☒	☐	個人情報保護やBCP研修など定期的に事業所内で研修を実施しています。社外研修を受ける機会を確保しています。	今後も継続していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	☒	☐	支援プログラムを作成し公表しています。	今後も継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	☒	☐	日々の活動の様子を記録し、アセスメントを取っています。担当者会議にて職員が客観的な分析を行い、個別支援計画へ反映しております。	今後も継続していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	☒	☐	実施しています。	今後も継続していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	☒	☐	非常勤職員にも内容を共有できるように共有事項をまとめてわかりやすくしています。	ミーティングや振り返りの時間を設けるなど、別の共有方法も検討してまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	☒	☐	各年齢の発達段階を踏まえつつ子ども一人ひとりの発達段階も確認しています。	今後も継続していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	☒	☐	実施しています。	今後も継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	☒	☐	職員全体で会議を行い、共有しながらチームで立案をしております。	今後も継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	☒	☐	療育活動ではお子様のご希望を伺い、一緒に決めております。活動が固定にならないよう、新しい活動を指導員から提案し、ほかのお子様との関わりに繋げております。定期的に玩具の入れ替えも行っております。学習内容はお子様の進捗や保護者様のご希望をお伺いして都度変更しております。	今後も継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	☒	☐	個々の特性や課題に合わせて個別支援計画を作成し、支援を行っております。	今後も継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	☒	☐	職員間で当日のお子様へ提示する支援内容を口頭や日誌、個人ファイルの共有欄等を通して確認し合っております。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	☒	☐	常勤職員間で支援終了後に振り返りと共有の時間を設け、次の支援へと繋げております。 また、共有事項は日誌へ入力をし、当日いなかった職員も確認ができるようにしております。	支援終了後の振り返りは今後非常勤職員も含めて実施してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	☒	☐	学習・療育面からの記録に加えてお子様の変化について記録をとっております。その記録を全職員で閲覧し、次の支援への改善策を考えて実施しております。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	☒	☐	半年に一度モニタリングの実施を行い、個別支援計画の見直しを検討しております。	今後も継続していきます。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

実施日：令和7年2月7日

公表：令和7年3月31日

公表：令和7年3月31日		事業所名	オレンジスクール		藤沢教室（単位2）	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	改善策
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	☒	☐	実施しています。	今後も継続していきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	☒	☐	学習に関しては、学習内容の継続の可否についてや今後取り組みたいことなどをお子様に尋ね、取り組む内容について自分自身で考え決めていただく機会を設けております。 療育活動でも、遊びたいものや作りたいものなどをご自身で選ぶことができるように環境を整えております。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	☒	☐	主に児童発達支援管理責任者が参画しております。	今後も継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	☒	☐	ご家庭からのご要望に応じて、学校や他事業所と連携して支援を行っております。	今後も継続していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	☒	☐	ご家庭から年間計画予定や下校時刻を共有していただいております。 学校と連携を取る必要がある場合は、ご家庭を通じて相談した上で情報共有をいたします。	今後も継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	☒	☐	ご家庭からのご要望があれば対応します。	今後も継続していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	☒	☐	ご家庭からのご要望があれば対応します。	今後も継続していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	☒	☐	必要に応じて機会を設けます。	今後も継続していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	☐	☒	現在は取り組んでおりません。	ご家庭やお子様のニーズに応じて慎重に検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	☒	☐	管理者や児発管などの代表者が参加しています。	今後も継続していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	☒	☐	オンラインシステムを利用して日々のお子様の様子を公開しております。その他にもLINEやお電話、面談にて最近のご様子や学習状況などを共有しています。	今後も継続していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	☐	☒	ペアレントトレーニングや家族等の参加できる研修の機会は設けられませんでした。	まずは情報共有等できるところから行っていまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	☒	☐	体験や契約の際に内容をお伝えしています。 利用者負担に関しては、受給者証の変更や利用区分の変更等があった際にも説明させていただいております。	今後も継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	☒	☐	日々の支援や面談前事前アンケート等で、お子様やご家庭の意向を確認する機会を設けております。	今後も継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	☒	☐	実施しております。	今後も継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	☒	☐	お困りごとに対しては面談やお電話、LINE等で各指導員の経験や専門性を持ってお答えしております。	今後も継続していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	☐	☒	現在実施しておりません。	ご家庭やお子様のニーズに応じて慎重に検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	☒	☐	苦情やご要望については職員間で共有し、迅速に対応させていただきます。また、教室内での窓口を設置しております。	今年度は窓口の所在をおたよりにてお知らせいたしました。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	☒	☐	毎月のおたよりやグーグルビジネス、HPのブログ等で発信しております。	今後も継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	☒	☐	常勤、非常勤に関わらず、職員への個人情報の取扱いに対する研修を行っております。個人情報を含む書類などについては鍵付きの倉庫にて保管し、PCのパスワード設定、ウイルス対策ソフトの導入も行っております。	今後も継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	☒	☐	お子さんについては発達段階や特性に応じた伝え方に配慮をしております。また、ご家庭状況に合わせた面談の実施方法などを工夫しています。	今後も継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	☐	☒	現在実施しておりません。	ご家庭やお子様のニーズに応じて慎重に検討していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	☒	☐	各種マニュアルを策定し、研修や安全管理計画に基づいて職員やご家庭への周知、訓練を行っております。	今後も継続していきます。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

実施日：令和7年2月7日

公表：令和7年3月31日

公表：令和7年3月31日

		事業所名	オレンジスクール		藤沢教室（単位2）	
非常時等の対応		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	改善策
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	☒	☐	業務継続計画を策定し、定期的に避難訓練や消防訓練などを行っております。	今後も継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	☒	☐	契約時や面談時にお子さまの状況について確認しております。	今後も継続していきます。
	49	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	☒	☐	アレルギーの有無やその対応についてもご家庭に確認しております。	今後も継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	☒	☐	作成した安全計画をもとに、毎月必要な研修や訓練を実施しています。	今後も継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	☒	☐	非常災害時の引き渡し方法や連絡場所等、おたよりにてご家庭へ周知しています。	今後も継続していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	☒	☐	日々、ヒヤリハット事例集（対応策を含む）を作成し、職員間で共有しています。	今後も継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	☒	☐	虐待防止委員会主導のもと研修を実施し、虐待防止への意識を高めています。	今後も継続していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	☒	☐	契約時や個別支援計画面談時にご家庭へ説明しています。	今後も継続していきます。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2025年3月31日

事業所名: 放課後等デイサービス オレンジスクール 藤沢教室(単位2)

対象人数(保護者)44人 回答者数 36人 回収 81.8%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29	7			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	31	5		まだ利用前なので分かりません 遊んでいる子が、目に見える環境で、すぐ横にいますので、できれば間仕切りくらいはあるほうが、集中してやりやすいかと思います。(本来は扉1枚あるのが理想でしょうが) 若い方が大半なので経験の多い方もいると柔軟な対応に繋がると思う 男性の先生がもう少しいたら嬉しいのにな、と子供が話しています。 今、女性職員の方だけになってしまい、少し寂しいようです。男性女性両職員の方に勉強や遊びを教えてほしいようです。	学習スペースと療育スペースの境に扉を設置することは難しいのですが、騒がしくて集中が難しい場合には面談室も使用することができますので、状況に応じて使用を促してまいります。 職員の年齢や性別に関して、現時点での対応はいたしかねますが、ご提案を基に今後の職員配置について検討を進めてまいります。また、今後も支援スキル向上のため研修等に参加して自己研鑽してまいります。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	16			
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	35	1		まだ利用前なので分かりません	利用している中で気になることがございましたらいつでもお申し付けください。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	32	4		まだ利用前なので分かりません	お子様や保護者様のご希望を伺う、新しい活動を指導員から提案する等で活動プログラムが固定化しないよう工夫しています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	16	18	まだ利用前なので分かりません 特に必要性を感じていない	お子様やご家庭のニーズに合わせて慎重に検討してまいります。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	32	4		まだ利用前なので分かりません	サービス提供記録をHUGに記載しております。 その他にも送迎時や、LINE、お電話、面談等にて日々の様子や発達状況について共有させていただいております。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	4	1	まだ利用前なので分かりません	発達や育児に関してお困りごとがございましたら、面談に限らずLINEやお電話でもご相談を受け付けていますのでご利用ください。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	12	23	まだ利用前なので分かりません 特に必要性を感じていない コロナ禍明けなどあり、会の開催は難しいと思いますが、今後の開催があればいいなと感じております。	貴重なご意見をありがとうございます。 お子様やご家庭のニーズに合わせて慎重に検討してまいります。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	16		まだ利用前なので分かりません 苦情を言った事が無いので分かりません	苦情に関しては管理者宛に教室に直接ご連絡いただくか、藤沢市役所(子ども家庭課)にご連絡ください。 苦情が発生してしまった場合には迅速に対応させていただきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	4		まだ利用前なので分かりません	LINEやお電話、サービス提供記録など、様々なツールを用いてスムーズに意思の疎通や情報伝達ができるよう努めております。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28	8		まだ利用前なので分かりません	毎月のおたよりで活動概要や行事予定等をお知らせしております。 ホームページにて自己評価の結果を公表しております。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	31	5		まだ利用前なので分かりません	個人情報保護研修を実施しております。 書類は鍵付きの書庫にて保管し、PCについてもパスワード設定、ウイルス対策ソフトを導入しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	33	2	1		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	34	2		まだ利用前なので分かりません	非常災害時に備えて年に2回避難訓練を行っております。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	30	6			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	32	4		まだ利用前なので分かりません	利用している中で気になることがございましたらいつでもお申し付けください。
療育	⑲	療育は役に立っているか	32	4		まだ利用前なので分かりません	今後も個々の障害特性や発達段階に応じた発達支援を行ってまいります。お子様の成長でお困り事やお悩み等がございましたらお申し付けください。
	㉑	今後やってほしい療育はあるか	13	14	9	何か困りごとやお願いごとがある場合はまた相談させていただきます。 まだ利用前なので分かりません 外出をして、買い物をやってみる、など社会的体験 外での活動や長期休みなどに職場見学等活動の幅を広げて行って欲しい 基本的には今まで通りで、より自発的な会話(丁寧な言葉で)を促すような療育でお願いいたします 今の療育で満足しています。 系列のデイサービスの同年代と遠足や遊ぶ機会があれば、さらに一歩、大きめの集団で遊ぶという経験ができると思うので、あれば嬉しいです。 学習以外に、楽しみとして点つなぎのプリントをしたいようです。 買い物体験	貴重なご意見をありがとうございます。 今年度は地域清掃や買い物体験を地域活動として取り入れました。外出する活動に関しましては、皆様のご意向や教室で対応可能な範囲(人員配置・安全の確保など)を確認しつつ慎重に検討してまいります。 職員やお子様同士での会話のやり取り、お子様のモチベーションにつながるような学習・遊びを今後も提供してまいります。 ご意見・ご要望等ございましたらお気軽にご連絡ください。

事業所における自己評価総括表

事業所名	オレンジスクール 藤沢教室（単位2）										
保護者評価実施期間	2025年	1	月	15	日	～	2025年	1	月	31	日
保護者評価有効回答数	対象数	45	家庭	・	回答数	36	家庭				
従業者評価実施期間	2025年	2	月	7	日	～	2025年	2	月	7	日
従業者評価有効回答数	対象数	4	名	・	回答数	4	名				
事業者向け自己評価表作成日	2025年	3	月	7	日						

分析結果

	事業所の強み より強化・充実を図ることができる	工夫・意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切なアセスメントによってお子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析し、放課後等デイサービス計画を作成できている。	・学習内容の継続の可否など今後取り組みたい内容についてお子様に尋ねる機会を設けている。 ・LINEやお電話、面談などで最近のお子さまの様子や学習状況について共有し合っていること。 ・常勤職員間で支援終了後に振り返りと共有の時間を設けている。	・専門性をより高めるために積極的に研修に参加し、自己研鑽に努める。 ・支援終了後の振り返りは今後非常勤職員も含めて実施していく。
2	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	・療育活動ではお子様の希望を伺いつつ、固定化しないように新しい活動を指導員から提案し、ほかのお子様との関わりに繋げている。 ・学習活動ではお子様の進捗や保護者様のご希望を反映している。 ・お金や買い物のプリントに取り組んでいるお子様がいることから、今年度は地域活動に買い物体験を取り入れた。	・玩具の定期的な入れ替え。 ・お子様の発達段階や学習状況、ご家庭のニーズを踏まえた創作活動や地域活動の設定。
3	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明ができている。	・前年度の自己評価を受け、今年度は教室内や様子を面談時や送迎時など来室された際に見ていただく機会（時間）を設けさせていただいた。 ・職員全体に支援内容が共有できるように、個人ファイルや日誌などに共有事項を記載している。 ・簡潔にわかりやすく当日の記録をまとめるよう職員間で意識している。 ・利用者負担に関しては体験や契約だけでなく、受給者証の変更や利用区分の変更等があった際にも説明する機会を設けている。	・来年度も教室内やお子様の様子などを、面談時や送迎時を活用して定期的に共有していく。 ・お子様ごとの支援内容について職員間で共通理解を持てるように、他の共有方法についても今後検討していく。 ・個々の常勤職員が利用者負担について十分な説明をできるようにより一層知識を深めていく。

	事業所の弱み 事業所の課題や改善点	課題の要因等	改善の取組や工夫が必要な点等
1	事業所の設備はバリアフリー化の配慮がなされているかという項目に対し、保護者様から「どちらともいえない」の声を多く寄せられた。	・バリアフリーに関しては十分な広さを設け段差をなくしているが、スロープや手すりの設置が設置されていない点から、判断に迷われたのかもしれない。	・スロープや手すりの設置は現時点では難しいが、教室内の導線を確認しレイアウト等を見直すところからバリアフリー化を進めていく。
2	苦情対応体制の設備やその周知・説明、苦情があった場合の対応について、「どちらともいえない」が多かった。	・「苦情を言ったことが無いのでわからない」というお声もあった。 ・苦情窓口に関しての周知がご家庭全体に徹底できていない。	・今年度より苦情対応窓口を毎月の会報に載せ、定期的にリマインドとして周知が出来るような環境を整えた。すぐ窓口につながるように今後も継続していく。 ・契約時にわかりやすくお伝えしていく。
3	父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていないというお声が多かった。	・現在のところ未実施。	・「特に必要を感じていない」というお声があった一方、「コロナ禍明けなどあり、会の開催は難しいと思うが、今後の開催があればいいなと感じている」とのお声もあった。 - ご家庭やお子様のニーズなども踏まえながら慎重に検討していく。

自己評価を実施しての感想

アンケートにご協力いただき感謝申し上げます。
 日頃より教室運営にご協力をいただいているご家族の皆様から、貴重なご意見を頂戴することができました。
 前年度の自己評価を踏まえ、今年度からは保護者の方へ面談時などのご来室時に教室の様子を紹介するなどの取り組みを行いました。その結果が事業所の強みとして表れてきたのかと思います。
 今回も皆さまのご意見を真摯に受け止め、通っていてよかったとご家庭やお子様にも思っていたいただけるような教室にしていきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。